

## 木津川下流河川保全利用委員会 結果報告

日 時： 令和 5 年 9 月 15 日(金) 12 時 30 分～13 時 30 分  
 場 所： アスピーアやましろ (木津川市)  
 参加者数： 委員 3 名、占用者 3 名、一般傍聴者 0 名  
 河川管理者 3 名、事務局 4 名

### 1. 議事内容および出席者

木津川下流河川保全利用委員会の議事内容および出席者は、以下に示すとおりであった。

#### 議事内容

- 1) これまでの会議の報告
  - (1) 令和 5 年度 連絡調整会議の報告
  - (2) 令和 5 年度 占用者説明会の報告
- 2) 令和 5 年度審議対象案件の審議
- 3) 一般傍聴者からの意見聴取
- 4) とりまとめ、その他



委員会の様子



委員会の様子

#### 出席者

|      | 委員名    | 所属・役職                      | 備考   | 出欠 |
|------|--------|----------------------------|------|----|
| 委員   | 村上 興正  | 元 京都大学理学研究科 講師             | 委員長  | ○  |
|      | 宗田 好史  | 関西国際大学<br>国際コミュニケーション学部 教授 | 副委員長 | ×  |
|      | 久保田 洋一 | (株) 関西総合研究所 研究フェロー         |      | ○  |
|      | 辻本 哲郎  | 名古屋大学 名誉教授                 |      | ×  |
|      | 坂東 美紀  | 公益財団法人 京都府スポーツ協会<br>事務局長   |      | ○  |
| 行政委員 | 後藤 幸宏  | 京都府府民環境部自然環境保全課<br>課長      |      | ×  |
|      | 杉本 学   | 京都府教育庁指導部社会教育課 課長          |      | ×  |

|       |        |                  |  |  |
|-------|--------|------------------|--|--|
| 河川管理者 | 春名 美由紀 | 淀川河川事務所 占用調整管理官  |  |  |
|       | 大倉 和基  | 淀川河川事務所 保全対策官    |  |  |
|       | 田中 智也  | 淀川河川事務所 事務官      |  |  |
| 事務局   | 田村 和広  | 株式会社 東京建設コンサルタント |  |  |
|       | 柚木原 裕二 | 株式会社 東京建設コンサルタント |  |  |
|       | 鈴木 颯人  | 株式会社 東京建設コンサルタント |  |  |
|       | 粕谷 俊輔  | 株式会社 東京建設コンサルタント |  |  |

## 2. 現地視察

委員会開催に先立ち、現地を視察した。

| 現地視察先               | 占有者             |
|---------------------|-----------------|
| No. 41 山城コミュニティ運動広場 | 木津川市教育委員会 社会教育課 |
| No. 43 木津川河川敷多目的広場  | 精華町教育委員会 生涯学習課  |



No. 41 山城コミュニティ運動広場



No. 43 木津川河川敷多目的広場

### 3. これまでの委員会の報告

今年度実施した、「連絡調整会議」、「占用者説明会」の内容について報告した。

### 4. 令和5年度審議対象案件の審議

令和5年度審議対象の2件について審議した。審議対象案件に対する委員会意見は次のとおりである（審議順）。

#### ■No41 山城コミュニティ運動広場（木津川市、ランクA）

- ・いろいろな事情があることは聞いたが、前回審議から一步も進んでいないようで残念であり、意見に対する対応をきちんととられたい。
- ・市名でもあるので、木津川を生かした川づくり、まちづくりに努められたい。
- ・環境学習関係、防災関係の部署と連携をとって、ぜひ前進してほしい。
- ・まずは保全、そこで川ならではの利用となる何らかの取り組みをしてほしい。
- ・市民団体等とも連絡を取って進められるとよい。川で安全に遊ぶ取り組みをされている団体もある。
- ・市民が集まるには良い場所だと思うので何かできることがあるのではないかと感じた。
- ・今は小さい子供たちが大きくなって集まってくれるとよい。
- ・長期的に見て、どんなことでもよいので、何か実績を作ることが大事だと思う。
- ・劣化した看板の補修を行ってほしい。
- ・バッタ取りでもなんでも、1年に1回でもよいのでなにかやること大事。
- ・ランクAを継続、占用期間は3年とする。

#### ■No. 43 木津川河川敷多目的広場（精華町、ランクA）

- ・防災、環境の活動の場として河川敷は重要と思う。そういう方面での利活用はぜひ進めてほしい。
- ・環境啓発の看板などの設置も第一歩としてよいと思う。
- ・清掃活動を実施する際に情報提供するなど、既存の何かの機会を活用して環境、防災等に関する情報を伝えていけるとよいのではないか。
- ・上流側の返還した場所で、川側の湿地はセイタカヨシ、陸側はセイバンモロコシが広がるなど、その場に応じた遷移が進んできている。
- ・体育館ではなく、占用地のような場所が多世代の利用が見込める場として期待できるのではないか。
- ・川でなくてはできない利用を進めていくのが良い。
- ・高茎草本はなかなか利用されないが、草原のグラウンドはバッタなど虫取りにも活用できる。
- ・河川レンジャーなど知識のある人と一緒に取り組めるとよい。
- ・比高の高い場所はオギ群落となり、一部のヨシ帯はカヤネズミの営巣場としても機能するし、それを観察するのもよいと思う。
- ・ここで「何ができる」という情報が伝えられれば、利用したいという人は出てくるかもしれない。上手に伝えられるとよい。
- ・スポーツ利用が減少していて、今後、返還の方向になりそうに感じたが、バッタ取りなど環境利用には良い場所であると思う。
- ・多目的利用のポテンシャルがある場であり、もったいない。活用方法を検討されたい。
- ・ランクAを継続、占用期間は3年とする。

### 5. 一般傍聴者からの意見聴取

- ・一般傍聴者参加なし

### 6. その他

- ・なし

以上